

# 令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

中央小	学校	児童数	161
-----	----	-----	-----

### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.04	19.17	30.87	37.01	41.41	9.63	144.89	18.53	49.31
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	15.91	18.56	34.75	34.75	32.99	9.90	137.24	12.72	51.46
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

### 結果の概要

男子はすべての項目において大阪市・全国を下回る結果であった。女子は「握力」「上体起こし」が大阪市・全国を上回る結果であった。その他の種目については下回る結果であったことから、体力合計点は男女ともに大阪市・全国を下回る結果となった。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」で、男子・女子ともに、肯定的な回答の割合が大阪市・全国平均より下回る結果であった。また、「1週間の総運動時間」の項目において60～419分運動していると回答した児童生徒の割合は、男子は60.4%、女子は60.3%と、大阪市・全国と比べても、男子・女子ともに高い割合となっている。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

「体力の向上・運動の日常化を図るための活動を行う」ことを目標として、年間を通して、跳躍力を向上させることに重点を置き、日々の体育学習等で様々な運動に取り組んだ。また、運動への意識づけや体力向上の強化として、運動委員会によるラダー遊びの活動を行った。また、冬場には全学年で休み時間に「耐寒なわとび運動」にも取り組み運動をする機会の場を工夫しながら設定した。

男子、女子ともに、運動することの大切さを感じていない児童が多くみられたことから、児童にとって「楽しい」「できた」といった、運動に対する肯定感をもてるような取り組みの工夫が今後の改善点である。日常的に運動に親しみ、さらに運動技能が向上できるよう、日々の学習も大切にしながら、環境整備も含め、体力向上の推進をしていきたい。